

事業報告

<研修名>

令和2年度 新任社会教育行政職員・新任社会教育主事研修会

<開催日時>

令和2年6月5日（金） 10:00~15:00

<会場>

大分県立図書館 視聴覚ホール

<参加人数>

42名（県：4名、15市町：38名）

<研修趣旨>

新任の社会教育行政職員として生涯学習・社会教育に関する基礎的・基本的な知識を習得するとともに、業務遂行に必要な人的ネットワークづくりやスキルアップを図り、社会教育行政職員および社会教育主事としての使命と役割を理解する。

<研修内容>

【研修1】講義 「生涯学習・社会教育行政職員への期待」

講師：大分大学高等教育開発センター 教授 岡田 正彦 氏

社会教育行政職員の職務と生涯教育・社会教育の現状について、職務については法的な根拠を示しながらその意義について説明があり、現状については予算の削減や職員体制の縮小などの現実が示されました。また、社会教育行政職員に期待される役割については大きな視点から物事を考える示唆もいただきました。初めての職場で悩んでいる方にとっては共感できる内容のようでした。

【研修2】講義「生涯学習・社会教育と地域の暮らし」

講師 別府大学文学部人間関係学科 教授 長尾 秀吉 氏

社会教育について、個人が自分らしい（思い描いた）生活をおくる上で抱えている悩みや困りごと（生活課題）を、自分が住む地域社会の問題（地域課題）の克服の中で考え、生活の質を向上させる視点でご講義が行われました。例として、アメリカ社会が抱える貧富の差について映像を交えることでわかりやすく説明し、参加者が具体的に理解でき、その必要性に気づくことができましたようです。

【研修4】講義「社会変化による現代的課題と大分県の生涯学習・社会教育」

講師 大分県立図書館副館長兼学校・地域支援課長 森山 貴仁

大分県の生涯学習・社会教育の現状について資料を交えて説明。

（研修3は新型コロナウイルス感染症拡大予防による規模縮小のため割愛）

<当日の様子(写真)>

【開会行事】開会挨拶
大分県立図書館副館長兼学校・地域支援課長 森山 貴仁



【研修1】講義 「生涯学習・社会教育行政職員への期待」
講師：大分大学高等教育開発センター教授 岡田 正彦 氏



【研修2】講義「生涯学習・社会教育と地域の暮らし」
講師 別府大学文学部人間関係学科 教授 長尾 秀吉 氏



【研修4】講義「社会変化による現代的課題と大分県の生涯学習・社会教育」

講師 大分県立図書館副館長兼学校・地域支援課長 森山 貴仁



<参加者感想>

- ◇社会教育について、全く知識がなかったが、今回の研修で基礎的な部分を学ぶことが出来て良かった。
- ◇1人だと悩みをそのままかえることは実際にあったので、共感しました。
- ◇新しい仕事につき、悩むことも多い中だったので、理論的に学習できた今日の研修は有意義でした。また、学習する場があるとうれしいです。
- ◇短い時間の中で、社会教育の基本を知ることができ、満足です。日々の業務の中では社会教育が何なのか、どういう意義があるのか分からないままだったので、今後業務に取り組むにあたり、社会教育について知ることができ大変良かったです。
- ◇事前のビデオ研修（ウェブ研修）はこのコロナ禍においては適切であったと思います。
- ◇緊急事態宣言解除後とはいうものの、感染のリスクが解消されたわけではない状況の中で、やむをえない設定であったと思います。「新たな生活様式」の一つとして、研修のあり方・主催教室の開催の仕方の転換に私も知恵を絞らねばなりません。
- ◆他の参加者と交流の場が今回もてなかったのが残念でした（このような状況なのでやむを得ないと思いますが）